

授業・講座展開例 偽装サークル

■ テーマ

鍛えよう、消費者力
～偽装サークルの勧誘を事例として～

■ 本時の目的

- 事例を通じて、消費者トラブルの問題点を理解する。
- 自分がトラブルに遭わないための注意点や、周囲が巻き込まれそうになった際の対応を身に付ける。

■ 展開例

時間	主な活動	指導上の留意点	使用する教材・資料
導入 (7分)	1. 消費者トラブルと契約について <ul style="list-style-type: none"> ● 消費生活トラブルの現状、消費者トラブルの原因と社会の変化について知る。 ● 若年者の消費者トラブルの特徴を資料から読み取り、ワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会の変化(デジタル化の進展等)に気づかせ、自身のネットショッピング等の利用経験との関わりを意識させる。 ● 資料を読み取る力を身に付けられるように取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「消費者トラブル概況」投影用スライド P.10,12 ● ワークシート
展開① (8分)	2. 診断セルフチェックに取り組む <ul style="list-style-type: none"> ● セルフチェックを行った結果に基づき、「消費者力」に関する自己診断を行う。 ● ワークシートで自己分析を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分は大丈夫と思っている受講生の意識と診断結果の差を取り上げ、誰もがトラブルに遭う可能性があることに気づかせる。 ● 「消費者力」を身に付けることが、自身の被害を防止するとともに、周囲や社会のトラブル・被害を減少させることにつながることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 診断セルフチェック ● ワークシート
展開② (25分)	3. 体験型教材に取り組む <ul style="list-style-type: none"> ● 事例動画を視聴し(約7分)、主人公の行動の問題点をワークシートに記入する。 ● 復習動画を視聴し(約5分)、選択した場面で取りがちな対応と望ましい対応について考える。 ● 解説動画を視聴し(約7分)、事例を通じて学んだことをワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事例動画を視聴して、主人公のどの対応に問題があったのか、どのような点に気をつければ良かったのかを確認させる。 ● 復習動画の選択場面(気づく、断る、相談する)で、自分ごととして考えさせ、一人ですぐに決めないという点が重要であることを理解させる。 ● 解説動画で、事例を通じて考えたこと、今後気をつけることを、展開①の自己診断も踏まえてまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画教材(偽装サークル) ● VRゴーグル ● ワークシート
まとめ (10分)	4. 学習のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ● トラブルに遭いそうになったときの対応について確認し、ワークシートに記入する。 ● 家族・知人の様子がおかしかったとき、トラブルに遭いそうなとき、自分が周囲に対して行えることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「消費者トラブルに遭いそうになったら」を確認することで、展開②の内容を復習するとともに、深めさせる。 ● 「自分を守る」ことに加え、周囲への働きかけとして何ができるかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「相談先・周囲への働きかけ」投影用スライド P.1-3 ● ワークシート ● 「相談先・周囲への働きかけ」投影用スライド P.4-14